

だいさんじょるなう

(題字：第3アリアンサ日本語学校 西田カミラみずき)

※「じょるなう」とは、ポルトガル語でJORNAL という意味です

高岡市ジュニア親善大使との交流！

7月下旬、富山県高岡市から、4名の中学生が親善大使として、ミランドポリス市を訪問しました。8月3日には、第3アリアンサを訪問しました。



故松沢謙二さんの墓参り（左上）。
第3アリアンサ富山県日本語学校で

移民や、村に関するクイズ（左下）。



島崎清さんの畑で、マンゴーやマンゴスチンを見学した後、会館で野球やサッカーをして交流を深めました。最後に、みんなで記念撮影。親善大使の4名にとっても、第3アリアンサ富山県日本語学校の生徒にとっても、忘れられない1日になったことと思います。

父の日のお祝いがありました。

8月14日は父の日でした。毎年、お母さんたちから、日頃の感謝の気持ちを込めて、この会が開かれています。手作りの料理、子供たちの言葉、お父さんたちも満足そうでした。



佐藤克郎さん（左）と島崎正男さん



子供たちから感謝の言葉。剛君、ちょっと、ど忘れしています。



レクリエーションはフルーツバスケット。もちろん日本語だけです！

めでたい！結婚式がありました！

9月17日(土)、第3アリアンサで結婚式がありました。新郎は、斉藤^{つとむ}力君(21)、新婦はタイスさん(16)の二人です。タイスさんは現役高校生です。学校と、家事の両立、頑張っ^{つとむ}て欲しいですね。



つとむくんと、タイスさん。
しあわせいっぱいです。



父親のひろしさん。



ケーキ入刀。よく見てください。
家の形をしています。このケーキ
は、祖母の^{あき}垂起さんの手作りです。

祖母の^{あき}垂起さん(左)と
母親のマルリーさん(右)。



シュハスコハは竹串で！
味が全然違います。前日、夜
12時前まで削りました。



こちらは、おなじみ、レイトン・ノ・
タッショ (leitão no tacho, 子豚の
素揚げ) です。Leitão=子豚。



大勢の人が集まりました。
手作りの結婚式、すばらしい
ですね！

ちょっと、紹介

第3アリアンサでは、マンゴーの栽培をしている家がたくさんあります。美味しく、病気にも強いマンゴーを作るには、接ぎ木をするそうです。斉藤さんの家では、この接ぎ木もしておられます。結婚式の前日、斉藤さんの家に行った時に、西田パウロー郎さんに説明してもらいました。



木の枝を切って、雑菌が入らないようにします(左)。そこに、マンゴーの枝を接ぎ木します。元の木は接ぎ木の上の部分を切り取ります(中)。接ぎ木をする前の状態の、幼木(右)。高さは1mちょっと位でしょうか。

2011年、第2回 ALMOÇO

9月25日、2011年第2回目のアウモツが開かれました。今回は、ちょっと違った場面を紹介します。第3アリアンサのアウモツは、porco と frango が有名ですが、どうやって準備をしているのか、のぞいてきました。肉の準備は前々日の、金曜日にします。

場所は、ミランドポリス市にあるスーパーマーケット「PINA（ピーナ）」です。



こちらは全て、牛のあばらの部分。
山積みになってます！すごい！

糸のこで、簡単に切っていきます。

どうして体重計があるのかと
思ったら。かついで重さを、
はかります。さて、なんの肉
でしょう？

冷凍庫で

私：「それはなんですか？」→
店員：「これは牛のあばらです」

私：「あれはなんですか？」

店員：「あれ牛の足の肉です。」

別の倉庫には豚の肉が
あります、全部肉ですよ！」

と言った会話になりました。

左は全部鶏です…。すごい。→

右は、倉庫に豚の足がたくさん。



あばらの部分を重ねて
保存してありました。



背中から足にかけて。
上の方が足です。



こちらは、前日準備の様子。



まんじゅうの、袋詰めをしています。
右からみずき、ハナ、デボラ。
デボラは、9月から勉強をはじめ
ました。



こちらは、かりんとうです。くっつ
かないように、熱いうちに手で、ひ
ろげます。もちろん、味見も一緒に
します。



全ての準備を終えた会館の様子。
当日は、6：30集合でした。
第3アリアンサの朝は、早い！